

# 新山協ニュース

△ 発行者 平田大六 △ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

## 合同山行

### 「花の角田山」へのお誘い

―坂倉登喜子先生とエーデルワイス  
クラブの皆様をお迎えして―

#### 婦人委員会

平成6年が幕明け致しました。今年度の山行にどんな計画や夢を馳せておられますでしょうか。

県山協にとりましては平成5年度のアスタト行事になりましたが、従来の婦人部から婦人委員会に昇格して、最初の行事となります山行をご案内申し上げます。

県外で活動されておられる女性グループとの交流を希望しておりますところ、80歳を過ぎてなお矍鑠と一線でご活躍をされておいで、エーデルワイスクラブ会長 坂倉登喜子先生のご配慮をいただき、クラブの皆様や先生がご指導されておられます登山セミナーの皆様との合同山行が実施の運びとなりました。カタクリの花が咲きはじめ、雪割草が満開の角田山で、大勢の皆様と出合い、これからの登山活動に繋がる一助となりますことを期待しております。

#### ◎実施要項

1.日程 平成6年3月26日(出)

27日(日)

2.行程

Aコース 国上山と角田山

登山

26日(出) 13時30分 国上

寺(登山口)集合

国上山一周後、宿泊先へ

18時30分より夕食、懇親

会

27日(日) 角田山登山

朝食(7時~7時30分)

↓宿発(8時) ↓登山口

(8時20分)

登山開始(8時40分) ↓

浦浜コース ↓ 山頂で昼食

(11時30分~12時30分)

下山開始(12時30分) ↓

桜尾根コース ↓ 下山後解散(14時30分~15時)

※植物観賞のため通常の

2倍強の所要時間です。

Bコース 角田山登山

26日(出) 18時宿泊先集合、

18時30分より夕食、懇親

会

27日(日) Aコース、角田

山登山参照

3.会費 9000円(1泊3

食付、懇親会費、その他)

27日昼食はおにぎり2ケと

豚汁

4.宿泊 西蒲原郡寺泊町野積

浜「王将茶屋」

☎025817512859

※浜茶屋のため日常は

☎025619214030

藤井義衛

5.申し込み 氏名、住所、所

属、Aコース、Bコースか

をお願いいたします。

〒950 新潟市南笹口1

ノ8ノ63ノ705

## 春山講習会案内

### 指導委員会

平成6年の冬も終わりに近づき、各団体におかれまして

### 理事会案内

期日 平成6年3月12日(土)

午後2時~5時

会場 下田村

自然教育センター

☎025614712619

議題 評議員会日程

新年度行事他

出席欠席の連絡を理事長

までお願いいたします。

春山講習会と同一会場です。

### 山田智子宛

☎025124417959

3月15日迄に文書か電話で

お願いいたします。留守時は留

守電セット有

6.その他

坂倉先生のグループは26日

(土)正午頃、燕三条駅到着。

ご参加の方には事前連絡を

させていただきます。

各登山口、宿泊先の駐車場

は広いので心配無用。

は春山登山計画が進められておることと存じます。  
 今年度は、今までの冬山講習会を春山講習会と名称変更して左記の要項で実施します。初心者、経験者にかかわらず参加願います。また指導員資格者も指導法の研修を兼ねて多数の参加をお願いします。

担当団体 秀峰山岳会  
 申込 小林由夫

三条市西四日町1ノ4ノ20  
 ☎025613214198

FAX

025613214198

準備、宿泊所借用届けの都合上2月末日までに連絡下さい。

柏工スキー山岳部

訪中登山隊

青海を行く(3)

郷 巨

期日 平成6年3月12日(土)13日(日)

会場 下田村 粟ヶ岳又はその周辺(雪の状態による)

宿泊 下田村八木前

下田村自然教育センター

☎025614712619

日程

3月12日(土)

17時~17時30分 受付

18時~19時 講演

「下田・笠堀の熊取の話」

19時30分~22時 夕食、懇親会

3月13日(日) 6時 出発

春山技術講習会 内容・会場は雪の状態によって決定します。

装備 春山日帰り装備

ワカン、アイゼン、ピッケル、寝具不要・宿泊所に用意してあります

参加費 2000円

山からの贈りもの

アタックキャンプの標高3920m。すでに、日本の山では体験できない未知のゾーンに来ていた。前日はメンバーの大半が下痢や頭痛、吐き気などの症状を訴えていた。

日本の山なら3時間半といえ

ば、大したことはないのだが

酸素不足のためか、かなり疲

れてしまった。しかし、何とか頭痛も治り、体調の方も回復の兆しを見せていた。

8月5日、いよいよ登頂の日となった。体調は万全とは

いれないが、何とか登れそう

だ。しかし、登り始めて1時間

間ぐらいたち、標高4200m

を過ぎたあたりでめまいが

した。息苦しくなり、しゃが

み込んでしまった。同行の医

師・祁(キー)先生に、ゴム

袋に入った酸素をもらい、現

地の高校生の張君と祁先生に

肩をかつがれ、頂上近くまで

運ばれた。何と無残な姿だっ

たろうか。

いわゆる典型的な高度障害

である。頂上には自分の足で

たどり着きたかったので、残

りわずかな道のりをゆっくり

と登って行った。すぐ、目の

前には岩だらけの頂上が見え

ている。

午後2時半、とうとう青海

南山を征服した。標高4472mのピークに、日本人13人、中国人11人のメンバーが勢ぞろいし、登頂成功を喜び合った。一人も欠けることなく、全員が目的を果たした。泣く者もいた。爆竹も鳴らして走り回っている元気な奴もいた。皆心の底から感動している。倒れた時は、もう駄目だと思

った。それくらいつらかった。いドキュメントだ。でも、現地の人をはじめ皆のバックアップによって、念願の頂上にたどり着いた。できれば、僕も全行程を2本の足で歩きたかったが、仕方がない。これも一つの忘れられない。

中国登山協会より 李豪杰氏来県される  
 海外登山委員会 田中純夫  
 平成5年7月31日から8月3日にかけて、来日中の中国登山協会職員李豪杰氏が本県を訪れた。同氏は日本のヒマラヤ登山隊に数多く同行しており、日中ネ合同チョモランマ登山、ナムチャバルワ峰登山、AACK梅里雪山登山など数多くに参加されている。7月31日は仙台から新潟に到着。田中が出迎え、そのまま新発田市五十公野で開催されていた北信越国体山岳競技会場へと向った。人工壁での登攀競技に同氏は感心しておられた。同夜はそのまま各県の競技役員の方々の懇親となった。8月1日はやはり北信越国体山岳踏査競技を観戦、最後



# 高校に人工ボードが

豊栄高校 堀 昌 明

さる10月31日、11月1日、豊栄高校の文化祭が行われたが、登山部の出し物として人工ボードによるフリークライミング体験教室が行われた。

高校登山部の人数減がかなりの高校での悩みとなっているが、我が豊栄高校でも1、2年生の部員がおらず、風前の灯となっている。そこで信州博からヒントを得て毎年行っている3階からの懸垂下降をやめ、今年は人工ボードで体験させ、部員集めをしようとしたのである。

できるかどうか心配だったが、県山協から人工ボードとホルルドをお借りし、体育館



の使用の許可も得ることができ、思いもよらず、開催できた。ボード用ベニヤ板は巾6cmのたる木を金具でくみ、木ねじで支え、ボード自体はシュリンゲで体育館の手すりに縛った。そしてロープを体育館の天井からさげてトップロープ方式をとった。写真のようにかかなりいいオーバーハン

参加は、場所が校舎の片隅で悪いにもかかわらず、生徒が面白がってかなり参加した。中には2日間何回も来ていた生徒もいた。短

いので、初級、中級はほとんど全員登ることができ、どうだ、というような得意そうな顔をしていたが、上級のルートには歯が立たず、悔しがって何回かトライしていた生徒もいたが、誰も登れなかった。また、生徒どうしで励ましたり、嘶したりと、明るい雰囲気のまま行うことができた。ルートはもちろん登れるのと登れないのと作ることが目的だった。登ることの達成感と、

## 指導者研修会報告

長岡市中央公民館にて恒例の指導者研修会が12月5日開催された。出席者55名の盛況であった。午前中協会副会長藤井信による、平成5年度夏実施の中国青海省高校生交流登山大会の実施経過と、現地登山交流報告、さらにスライ

ドによる説明が行われた。その後指導員制度の改革変更の説明が田中副委員長よりなされた。地区指導員が文部省認定のC級スポーツ指導員に、2種指導員がB級指導員に、1種指導員がA級指導員に移行講習会を受けることにより、

登れない所への挑戦心をかき立てたようだった。単に見るだけでなく、参加するということで人気は上々だった。(残念ながら現在までに入部希望は出ていないが)もちろん、フリークライミングは登山部の活動のほんの一部であり、これだけだと思われても困るのだが、活動の見えにくい登山部の活動を文化祭で紹介するいい機会であった。

## 2月3日に登れる山

### 荒 船 山

1422・5m

関越自動車道を藤岡JICで長野方面に乗り換え、群馬県下仁田ICで降りる。国道254号線を長野県境まで34km程進み、内山峠の下を通る内

山トンネルを抜ける。ドライブ相手の店が右側に有るが、この手前100m程のところを左折して、今来たトンネル上部へ登るようにして内山峠



ライドによる説明。また世界の氷河研究成果の発表がなされた。とかく難しくなりやすい説明を、旅行中の逸話を交えながら話され、参加者に解り易く解説された。

懇親会は会場を移し29名の会員が出席した。互いの健康を喜びこの1年間の山歴の成果が楽しく話し合われた。

からの登山道へ行く。もう一本は100m程先の滑津川に架かる神房橋を渡って左折し、星尾林道終点荒船不動から尾峠を経て最高峰行塚山1422・5mへの登山路がある。

長野県側に入ったので関東平野との分水嶺になり、滑津川下流に景勝地内山峠がある。内山峠から中込までコイモス街道と最近呼ばれている。佐久市からは千曲川に合流して新潟県に入ると信濃川に名称が変わる。

内山峠には駐車場があり、この奥から少し下がるように登山道が始まる。駐車場山側に送電線鉄塔があり、そこへの道がしっかりと付いているので、ついつい登ってしまいが、先へ行って道が途絶えるので要注意。登山道は尾根道で良く整備されており若干の登り下りが続くなかを進む。季節柄霜柱が伸びていたり、日陰の場所がアイスバーン状になっているので注意が必要。登山コースのところどころから

荒船山の柱状節理からなる航空母艦のような熔岩台地になった雄姿を見せてくれる。途中この柱状節理の岩口から流れ落ちた水が30m程の高さで凍っている滝に出合う。おもわず歓喜の一声を発してしまふ。記念写真の1枚も撮りたくなる。

凍っている滝に出合う。おもわず歓喜の一声を発してしまふ。記念写真の1枚も撮りたくなる。

台地への最後の登りがちょっと岩道できつく感じるが距離はわずかであり、心配なく通過できる。登りきったところが荒船山の北端になり、笹藪に囲まれた道を進むと朽ちた小屋跡にでる。ここまでは内山峠から1時間30分のハイキングコースである。展望の良い鱧岩1325mはすぐである。最高峰の行塚山まではさらに30分は要する。台地上に広がる全般的に雑木が伸び、広いので展望が利かないのが残念である。荒船山を遠望しての山の大きさ、形容はどころか越後の山苗場山に似たところを感じる。

帰りは、佐久、菅平、中野飯山コースで帰るのも良い。(杉本 敏)

ちよっと一息

毎月ニュースを続ける為の原稿集めに苦労している。事務局五十嵐昇さんより、ニュース依頼用のハガキ20

の気持ち。家族への感謝の気持ち。様々である。山へ同僚を連れて行きたいと思う世話役さんの熱意が年々新しい山仲間を作っていく。そんな職場の雰囲気伝わってくる記念誌である。

「山靴の音」の記念誌を読ませてもらった。県立療養所悠久荘に勤める人達の年1回の山行、10周年記念誌である。職業柄厳しい勤めと思うが、中味は純な山への感動文の連続である。苦しい山行を断ち切れずに続ける人達の筆舌が、一気に記念誌を読み切ってしまう感動を与えてくれた。山を続ける人達の言葉は、感謝感謝である。山に対して感謝、企画幹事さんに対して感謝。

この感謝は、苦しい山行を無事故で山頂に立たせてもらったこと。自分の弱い気持ちを頂まで引っ張り上げてくださった幹事さんへの気持ち。自然の美しさを与えてくれた山への気持ち。職場外で同僚との語らいの場が作れたことへ

連絡

郵便番号

口座番号の変更

郵便振替の新処理システムの導入により口座番号が数字化されます。変更口座は次の通りです。

- 資格会費徴収係口座
今までの口座番号
新潟 51122040
新しい口座番号
0065008112040

中国青海高校生 登山交流大会 参加希望者 打ち合わせ会

標記会を左記の日時に開催します。遠征希望予定者は都合つけて出席願います。日時 3月13日(日) 10時より 会場 長岡市幸町2ノ7ノ70 県立長岡工業高校敷地 セミナーハウス 問い合わせ 藤井 信 025813214835

おくやみ

弥彦山岳会名誉会長の花井馨氏が、去る2月4日逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。